

地域の中での大切な居場所づくり

施設名 ワークメイト西宮聖徳園

① 活動実施の背景・実施に至った理由・思い

平成 27 年度より、ご家族をはじめ、たくさんの方にご利用者と一緒にプリザーブドフラワーの作製体験できる場を設けてきました。そこから発展し、地域の高齢者施設へご利用者と訪問し、地域との交流の機会を増やしていきました。

そこで今度は「地域の方にもっとワークメイトの存在を知ってもらうにはどうすればよいか」「地域の方とご利用者との交流の場を広げるには」「地域に役立つ活動はないか」・・・という思いから、子供たち向けの講習会という形で当事業所に地域の子供たちを呼び、障がいのある方と知り合うきっかけ作り、子供たちの居場所作りを目的に開始しました。



③ 活動の効果・課題

地域の子供たちが当事業所で講習会に参加して以来、私たちワークメイトの行事に遊びに来てくれる子供たちが増えました。事業所内に子供たちが違和感も持たず過ごせる場所が少しずつ形成されてきたのではないかと感じます。地域の中で子どもたちの居場所が一つ増えたことは、新たな事業所の役割であると感じます。

3ヶ月に1回程度の開催ですが、回を重ねるごとに新たな子供たちが増えてきており、少しずつこの取り組みが浸透してきているという実感があります。



② 取り組みの内容



子供たちが長期の休みを利用し、ワークメイト営業日の土曜日(原則第1・3・5)に実施。ワークメイト西宮聖徳園にて職員とご利用者様が一緒に参加し、季節の催しに合わせた作品を作成して頂ける講習会を実施。母の日の贈り物や夏休みの宿題に使えるものの作成、地域自立支援協議会と連携した紙芝居の開催など、子供たち同士でも気軽に参加できる内容です。ご利用者様と一緒にお菓子を食べながらお話をする時間も設け、子供たちが楽しみながら、障がいに対する理解の浸透も期待し、行っています。



④ 今後の展開・夢

ワークメイトに小さな子供からご高齢の方が気軽に立ち寄れるような場所になること。そしてご利用者との関わりが増えることで、障がいの理解が地域へ浸透し、障がいのある方がより暮らしやすい街づくりとなるための、先頭に立つ事業所になることができればと思います。

地域で起こる出来事について、「〇〇について、ワークメイトへ相談してみよう」というような話が地域の中から出てきて、地域課題に当たり前のようにワークメイトが参画し、一緒になって良い街づくりをしていける、そんな存在となることが我々の夢です。

